

組織目標評価報告書(平成30年度)

27

部局名: 情報統括センター

部局長名: 菅 誠 治

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
①教育領域	
①-1 目標	①-1 目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①全学の情報リテラシー教育と情報セキュリティ教育の質向上に取り組む。 ②教育におけるICT環境を更に充実させ、円滑な教育へのICT活用を支援する。 ③利用者相談室における学生サポート(外国人留学生含む)を充実させる。	①当センターが主導して、全新生を対象として情報リテラシー教育を実施した。特に近年重視されている情報セキュリティ対応能力の向上を図った。 ②情報統括センターの建物改修に伴い、アクティブラーニングスペースの整備を計画した。平成31年5月の完成に向け、可動式のテーブル付き椅子等の整備を検討し、調達準備を進めている。 ③グループの再編成により、ICTサービスグループを強化することで利用者相談室を充実させた。
①-2 年度計画との関連	①-2 大学全体への貢献
1 教育に関する目標を達成するための措置(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置(2) 教育環境に関する具体的方策に貢献する。	情報統括センター改修に伴い、アクティブラーニングスペースの整備など教育へのICT活用を支援するための環境を整備するとともに、学生のPC必携化に向けた無線LANアクセスポイントの更新及び設置状況の調査を進めた。
①-3 目標とする(重要視する)客観的指標	①-3 目標とする(重要視する)客観的指標を達成するための取組・達成状況
学生による授業評価 動画アーカイブ数 英語コンテンツ数 利用者相談室の学生対応件数	情報統括センター改修に伴い、授業におけるICT活用に関して、充実したICT環境を備えた環境を整備するとともに、実践的教育推進を支援する動画コンテンツの収録基盤としての収録スタジオを整備している。
②研究領域	
②-1 目標	②-1 目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①情報統括センター業務に関連する研究を推進する。 ②科研費等、外部資金への応募を促進する。	【論文・発表】 ・岡山大学における多人数ノートPC必携授業のための無線LAN環境の改善 河野 圭太、藤原 崇起、岡山 聖彦、村上 昌己 ・岡山大学における情報機器の脆弱性対策の取り組み 大隅 淑弘、村上 昌己、河野 圭太 ・留学生向けITリテラシー教材の作成について 村上 昌己 【科研】 応募件数:2件
②-2 年度計画との関連	②-2 大学全体への貢献
2 研究に関する目標を達成させるための措置(2) 研究実施体制等に関する目標を達成するための措置(3) 研究環境の整備に関する具体的方策に貢献する。	安心・安全に利用するためのネットワークサービス提供するため、全学のネットワークを更新し、可用性の高いネットワーク基盤の整備が完了した。
②-3 目標とする(重要視する)客観的指標	②-3 目標とする(重要視する)客観的指標を達成するための取組・達成状況
論文発表件数・学会等活動件数 科研費の採択件数	論文発表や学会活動等についても積極的に関わっている。 科研費の申請に関しては原則、全教員が申請することになっている。
③社会貢献(診療を含む)領域	
③-1 目標	③-1 目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①ICTに関する公開講座を実施することにより地域貢献する。 ②放送大学岡山学習センター等の非常勤講師を務めることにより地域貢献する。 ③大学共同利用機関法人等の委員を務めることにより社会貢献する。	①「インターネットの安全利用技術」と題した公開講座を実施し、40名が受講した。アンケートの結果、「とても満足」及び「満足」であるとの回答が81%であった。 ②インターネットとセキュリティ:放送大学、8コマ 認証技術入門:放送大学、8コマ ③国立情報学研究所学術認証運営委員会運用作業部会 委員 大学ICT推進協議会認証連携部会 運営委員
③-2 年度計画との関連	③-2 大学全体への貢献
特になし	市民に対して最新のICT情報を分かり易く提供することで大学のイメージアップを図ることができた。
③-3 目標とする(重要視する)客観的指標	③-3 目標とする(重要視する)客観的指標を達成するための取組・達成状況
公開講座の受講者数と評価内容 非常勤講師派遣回数 学外委員受託件数	公開講座に関しては、ホームページや山陽新聞の情報ひろば等を使って広報を行っている。 学外の非常勤講師、委員会等については、業務に支障のない範囲で積極的に関わっている。
④センター業務	
④-1 目標	④-1 目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組
①多様な学修ニーズと教育のグローバル化に対応し、学術情報・設備・環境を活用した学修・教育体制を強化する。 ②教育研究活動を支援するため、安全安心なICT基盤サービス及びネットワーク基盤を提供する。 ③情報セキュリティを確保するため、情報セキュリティ対策への取組を強化する。 ④学内外のデータを収集し、分析を行うIR/IE室の機能強化を支援する。	①導入後10年程度経過して陳腐化した無線アクセスポイントを、最新の安定した通信方式の無線アクセスポイントに更新するとともに、学務部と連携して大学内講義室の無線アクセスポイント設置状況の整理を行った。 ②全学ネットワーク機器の更新に伴い、監視する対象を増強した運用監視システムを導入した。これにより、従来検知できなかった障害及び障害の予兆を検知し、事前対応が容易となった。 ③学外にサービスを提供している部局設置の情報機器について脆弱性検査を行い、検査結果に基づく部局の指導を行った。深刻度の高い脆弱性は50%の端末が修正を完了した。 ④平成28年度から29年度にかけて構築した情報収集基盤に蓄積した教職員情報や学生情報を活用することにより、27件のデータ提供を行った。
④-2 年度計画との関連	④-2 大学全体への貢献
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置及びV その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置2 安全管理に関する目標を達成するための措置に貢献する。	安心・安全に利用するためのネットワークサービス提供するため、全学のネットワークを更新し、可用性の高いネットワーク基盤の整備が完了した。
④-3 目標とする(重要視する)客観的指標	④-3 目標とする(重要視する)客観的指標を達成するための取組・達成状況
セキュリティのe-Learningの受講率 ネットワーク、サービスの安全性 セキュリティインシデント発生による被害件数	情報セキュリティe-Learningの受講率及び未受講者リストを各部局長に通知し、未受講者への受講を促した。 各部局設置の情報機器について脆弱性検査を実施、検査結果に基づき、脆弱性の修正を促している。 平成30年度の情報漏洩及びウィルス感染による被害は、ともに0件である。
【総括記述欄】	
教育領域、研究領域、社会貢献領域及びセンター業務に関して、上述したとおり、良好であると判断している。	